

茨香会だより (第5号)

(茨城高専同窓会)

令和6年3月15日
茨香会(茨城高専同窓会)

1. 会長挨拶



日頃から茨香会の運営に関し、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
会員の皆様方も、新型コロナの5類移行に伴って徐々に新しい生活ペースに慣れつつあるのではないかと思います。

2024年、茨城高専は創立60周年を迎えます。

茨香会では『同窓会名簿のWEB化』が、ようやく実現できそうな状況になってきました。並行して『第2回 同窓生の体験談を聴く座談会』にも参加し、課外活動への補助など在校生がより良い学生生活が送れるよう、サポートを続けてきました。会の発展のため、今後とも宜しくお願い申し上げます。

茨香会会長 天海 忠之(1980年機械工学科卒)

2. 活動報告

(1) 学生会との懇談会

開催日：令和6年3月4日(月)

学生会役員との意見交換会を実施しました。

同窓会側から、従来から毎年『課外活動補助』として各クラブ・部活宛てに補助金の募集をし、応募の中から助成してきました。

来年度より、より多くの学生が助成を受けるように学生会に全額助成金を預け、有効利用して頂く事を提案しました。学生会側から、課外活動・学生会主催イベント向けとしての助成金として使って頂く事を提案しました。

(2) 後援会との懇談会

開催日：令和5年6月17日(土)

9月17日(土)

11月30日(土)

後援会役員との意見交換会を実施しました。

- ・『同窓生の体験談を聴く座談会』の開催運営及び実施結果について協議しました。
- ・卒業記念品、祝賀会について確認しました。

(3) 学校側との懇談会

開催日：令和5年6月17日(土)

鈴木校長以下関係者との意見交換会を実施しました。

- ・学校側の近況報告
- ・茨城高専創立60周年事業の説明を受けました。



3. 後援会主催『同窓生の体験談を聴く座談会』への協力

開催日：令和5年10月14日（土）午前1回、午後1回

昨年度、初めて実施しました「同窓生の体験談を聴く座談会」を今年度も実施しました。

昨年度のパネラー（同窓生）は、本科卒業10年後の卒業生にお話を頂きました。

今年度は、卒業年数には拘らず、下記の4名の方に海外生活、起業家、就職先の選択、卒業に熱い思いのある方に、進路や就職・今思う高専時代の振り返りなど、いろいろな体験談のお話をして頂きました。

本科1年生～5年生までの保護者・学生の方が参加されました。（約110名）

後援会から報告頂きましたアンケートの結果を、主な点を以下に記載します。

①99%の方から『参加して良かった』

②94%の方から『来年度も開催されれば参加したい』

③多くの方からのご意見に『学生にも聞かせてほしい』、『幅広い社歴の方、成功体験ばかりでなく学生時代に苦労された方の話が聞けて良かった』等前向きなコメントを頂きました。

後援会との開催後の会合の中で、次年度も協力要請されましたので、学校・後援会と協議の上同窓会として次年度以降も協力して行きたいと考えております。



竹村 誠氏

機械工学科卒

本科(5) ⇒ 日本人企業(10) ⇒
米国本社転籍(28)
テキサス州より
WEB参加



茅根 麻里奈氏
物質工学科卒

本科(5) ⇒ 専攻科
(2) ⇒ 国立研究開発法人(4)



渡邊 高明氏

電子情報工学科卒

本科(5) ⇒ 編入学
(2) ⇒ 企業(4)
⇒ 起業(12)



袴塚 拓実氏

電子制御工学科卒

本科(7) ⇒ 企業(8)

()内は勤続年数



土田後援会会長



鈴木学校長



天海同窓会会長

土田後援会長の開会のご挨拶、鈴木学校長のご講評、天海同窓会会長の閉会のご挨拶と三者一体となった『同窓生の体験談を聴く座談会』となりました。

4. 同窓会名簿 WEB 化へ変更検討

一昨年度の幹事会で提案しました同窓会名簿の『製本から WEB 化』についての幹事からのコメントを含めまして、具体的な運用方法について現在名簿管理を委託しております『小野高速印刷（株）』との交渉を昨年に引き続き実施して参りました。

その中で、多くの方からセキュリティーシステムについての質問を受けておりましたので、報告をさせていただきます。

導入予定のシステムは、銀行でも使用されているセキュリティーシステムとなっております。
(データサーバーとメインサーバーの 2 つのサーバーシステムであり、通常はオフライン)
更に、『小野高速印刷（株）』の同窓会名簿 WEB 導入の実績は 3 つの大学であり、3 つの高専で設計中となっております。

5. 課外活動支援

従来からのクラブ・部活動(補助金)支援を行っており、今年度は下記の支援を行いました。

- 1) 硬式野球に対する助成
- 2) 2023 年電気自動車エコラン競技大会の参加と電気自動車の製作
- 3) 園芸・環境同好会の活動費
- 4) 茨城高専の喫茶発掘

6. テント寄贈

学校側からの要請を受けまして、予算外ではありましたが、テントの老朽化、地球温暖化による夏場の高温化を考慮して、役員会の中で検討しテント 1 基寄贈しました。

寄贈しましたテントは、7 月 8 日～9 日に関東甲信越高専ソフトテニス大会が、ひたちなか市民運動公園で開催され、選手の控え所として寄贈早々に活用されていました。



7. 令和 5 年度卒業記念品贈呈

開催日：令和 6 年 3 月 16 日（土）

卒業式後に、後援会主催で開催されました『祝賀会』に於いて学生会・後援会・同窓会の 3 会合同で本科 5 年卒業生に対して下記卒業記念品を贈呈しました。



ネーム部拡大写真



8. 同窓会ホームページ刷新の検討

約 10 年前に同窓会ホームページを立ち上げましたが、会員の皆様に十分な情報提供が出来ていたか、タイムリーに情報提供が出来ていたか、同窓会へ問合せ等がし易かったかの観点に立ち、会員の皆様への情報提供、会員の皆様からの情報提供をもとに、更なる茨城高専同窓会の絆が強くなる一助となればと考え、ホームページの刷新の検討を進めてきました。

特に『スマートフォンでも見易く』を念頭に改良を考えております。

令和 5 年度幹事会で審議を計り、実行に向けて進めて参りたいと考えております。

9. 高専制度創設 60 周年記念事業『植樹祭』参列

開催日：令和 5 年 9 月 2 日（土）

高専制度創設 60 周年記念事業『高専の森』プロジェクト植樹式が開催され、県の木に指定されている『梅の木』の植樹が実施されました。学校・学生の成長を見届ける梅の木に成長を願うばかりです。

植樹祭には、天海会長が出席されました。

尚、本校は、令和 6 年度（2024 年度）に創立 60 周年を迎えます。

同窓会の皆様には、今後ご寄付等のお願いをさせて頂く予定でございます。別途学校から案内が届きますので、主旨ご理解の上ご協力をお願いします。



10. 新入会員の勧誘活動

開催日：令和 6 年 3 月 15 日（金）

4 年前の 2020 年より、同窓会入会時期を従来の卒業時から入学時に切り替えました。

現在の本科 1～4 年生・編入学生につきましては、入学時に入会をして頂いております。

同窓会設立時から継続されてきた卒業時の入会は、本科 5 年生が最後となりました。

今年度卒業生に対して、各課のホームルームで、担任の先生により、会報 3・4 号及び同窓会の説明を動画にて実施して頂きました。

更には、卒業式前日に天海会長より、同窓会の活動内容を中心に、同窓会への勧誘活動を説明させて頂きました。

また、学校・後援会のご協力を得て、『卒業祝賀会のご案内』の書類に『同窓会入会案内書』を同封して頂き、同窓会入会の案内文を各家庭に郵送しました。

下記の日付に入会受付を開設します。

3 月 16 日（土）卒業式

4 月 4 日（木）入学式

1.1. 関東信越同窓会との交流会

開催日：令和5年10月7日（土）

参加校：産技/荒川、長岡、長野、産技/品川、サレジオ、東京、茨城

産技/荒川高専主催で、ロボコン大会の前日に関東信越の各同窓会の活動状況・課題等の意見交換をオンラインで実施しました。

茨香会からは、名簿のWEB化・保護者会への同窓生の体験談を聞く座談会・学校側とのキャリアデザイン教育への協力の近況を報告しました。

他高専同窓会の主なトピックスは下記の通りです。

高専名	トピックス
産技/荒川	昭和17年大空会として設立。 会員数12,098名。都立航空高専として6,356名の会員。 会長1名、副会長2名、理事19名、事務局4名（在籍教員）。 課題：高齢化、理事の固定化、事務局の人手不足、現役学生との関わり方が課題。
長岡	入学時入会（現役は準会員）15,000円（会費：5,000円、終身会費：10,000円）納入。 会長、副会長、会計2名、学内理事、事務局 名簿情報は卒業時収集。 名簿利用は各自選択（事務局、同年度、全同窓会員、長岡高専） 会報（冊子）3年毎（名簿調査ハガキ発送、総会） コロナ禍支援：200万円寄付（令和2年）体温計 会報に基金募集を掲載
長野	総会議案書で説明。 同窓会だよりを郵送。
産技/品川	1935年発足。13000人の会員。 会報は紙ベースで毎年作成 課題：会員の確保、（個人情報）1/4の会員から、運営体制の維持（役員の高齢化）。
サレジオ	2005年に町田に引越し。 運営体制（事務局長、次長、局員） 予算 入会金（12000円/5年分・・・卒業時/保護者会が集める） 2年に1度の総会 年会費を納入者に会報を送付。 個人情報は問い合わせがないかぎり出さない。

東京	1965年設立（4期校）、2015年に50周年、同窓会は1971年に設立 会員8000名中約5000名に連絡可 役員；15名、事務局1名/週1回、名簿の管理 入会金：5000円、入学次徴収80%、入学生は準会員扱い。 200万円/年の収入。 会誌は全員に送付。会費のほとんどを充当。 専攻科のインターンシップ支援、在校生のキャリア教育への参画
----	---

12. 同窓会員スタッフ募集のお願い

今後の母校支援に対しては、学生会、後援会、学校側のご意見を踏まえ、男女問わず更に幅広い年代（卒業直後の若い20代、会社の中堅の年代の30代、ベテランの領域に入る40代そして様々な経験のある50代以上）の同窓会員スタッフを揃えて行く必要があると考えております。

ご協力いただけますスタッフを募集しておりますので、下記の茨香会事務局宛または茨香会ホームページより是非ご連絡下さい。



茨香会事務局
dosokai@gm.ibaraki-ct.ac.jp



茨香会ホームページ
<https://www.ibakosen-doso.jp>

今後とも何卒ご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。